

# 航空機の技術者向け教書発刊

## 日輪 大学やメーカーに活用提案

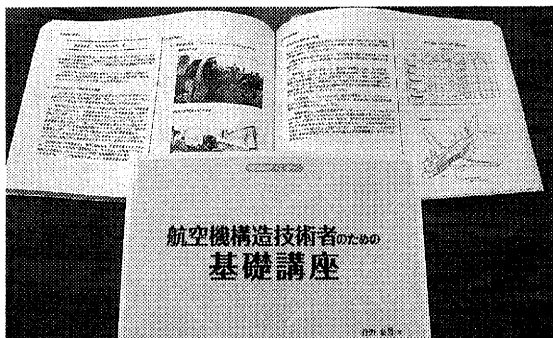
人材派遣業の日輪（本社刈谷市昭和町、中山伊知郎社長、電話0566・63・1710）は、航空機の技術者向けテキストブックを発刊した。著者は、同社で2002年から技術参与として人材教育を担当してきた丹野泰男氏。一般力学・材料力学の基礎から、機体構造設計の基本事項、構造設計に必要な機体システムの知識を盛り込んでおり、これから航空機の技術者をめざす人が知っておくべき基礎知識をやさしく解説している。大学や専門学校、航空機関連メーカーで教材としての活用を提案していく。（刈谷・片桐芳樹）

タイトルは「航空機構造技術者のための基礎講座」。発行は風詠社。308頁。定価は2300円（税抜き）。ネット通販では、4月から順次取り扱いを開始している。

丹野氏は、1960年京都大学工学部航空工学科を卒業し、同年川崎航空機工業（現川崎重工工業）に入社。ボーイング社との仕事を担当し、777では技術管理責任者を務めた経歴を持つ。退職後、中日本航空専門学校などの講師を務めた。02年から、日輪で技術参与を務め、エンジニアリング事業の立ち上げから人材育成を担当してきた。



技術参与として人材教育に携わってきた丹野氏



テキストブック「航空機構造技術者のための基礎講座」

中山社長は「長年蓄積されてきた資料、ノウハウを本として形に残しておきたかった」と発刊の狙いを話す。同社の人材確保と育成の強化にもつなげていきたい考えだ。

今回発刊したテキストブックは、日輪での社内研修講座の講義をベースに、丹野氏がこれまで蓄積してきた資料、ノウハウを集約した。丹野氏の長年の経験から、数学、物理学、工学など各分野を横断的に見て、航空機の技術者が必要とされる基礎知識の項目を選んで編集し、効果的に勉強できるようにした。

「一般力学と材料力学の基礎」と「飛行機のデザイン」の2部構成。図表や写真、補充説明を入れ、より理解が進むようにしている。